

2020 年日本熱物性学会第 1 回 (2020-1) 役員会議事録
2019 年第 5 回(2019-5)理事会との合同会議

日時:2020 年 1 月 25 日(土) 理事会 15:00~16:48

場所:東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター5F 501 室

出席者:(五十音順・敬称略)

浅井田康浩(パナソニック)	浅岡龍徳(信州大)
石部貴史(大阪大)	遠藤理恵(東京工大)
小原拓(東北大)	木下進一(大阪府立大)
熊野寛之(青山学院大)	小島秀和(弘前大)
齊藤敬高(九州大)	竹歳尚之(産総研)
戸谷剛(北海道大)	長坂雄次(慶應義塾大)
西田哲也(水産大)	羽鳥仁人(ベテル)
平澤良男(富山大)	福田翔(九州大業大)
堀部明彦(岡山大)	宮崎康次(九州工大)
元祐昌廣(東京理科大)	桃木悟(長崎大)
森川淳子(東京工大)	八木貴志(産総研)
山田修史(産総研)	山田純(芝浦工大)
山田雅彦(北大)	山田寛(岡山大)
渡邊純一(パナソニック)	

オブザーバー 福山博之(東北大)

審議事項:

小原会長と平澤前会長より挨拶があり、理事・役員の自己紹介があった。堀部事務局担当副会長より配布資料の確認があった。

議 題:

(1) 新旧役員紹介(役員一覧)と前回議事録確認 ……資料番号:20-1-1(1)~(3)

資料 20-1-1(1)-(2)およびに基づき新旧役員の紹介・確認があった。また、堀部事務局担当副会長より、資料 20-1-1(3)に基づき、前回議事録の確認があり、以下を修正の上了承された。

(3)総会に関する事項

- ・長坂国際連絡事務担当と山田雅彦規約等整備担当の肩書を修正
- ・重里先生のシンポジウム担当理事を削除
- ・熊野先生は「理事・評議員」に修正

(5)第 42 回日本熱物性シンポジウムについて

- ・山田雅彦規約等整備担当の肩書を修正

(2) 学生ベストプレゼンテーション賞選考結果報告 ……資料番号:20-1-2

桃木企画担当理事より、資料 20-1-2 に基づき第 40 回シンポジウムにおける第 17 回学生ベストプレゼンテーション賞(BPA)についての選考結果の報告があった。審査の結果、35 名から 5 名が選ばれた旨が報告された。

(3) 第 40 回日本熱物性シンポジウム報告 ……資料番号:20-1-3

桃木第 40 回シンポジウム担当理事より、資料 20-1-3 に基づきシンポジウムの報告がなされた。参加者 221 名であり、各会場とも盛況であった旨が報告された。また、シンポジウムの収支決算報告と実行委員会の申し送り事項も示された。

- ・参加者が大きく減ったが、原因として ISTP と重なってしまったことが考えられるとの報告があった。
- ・論文集の販売は大きく減少しており、Web 公開が行われたことが原因であると考えられる。論文集を購入した人にもみ 1 週間前に公開し、会期中は参加者に Web 公開した。
- ・電子版(CD)の広告を新たに設けたことが報告された。
- ・桃木第 40 回シンポジウム担当理事よりシンポの参加費を上げる方向で考える必要があるのではないかと発言があった。また、講演論文の CD を学会かシンポジウム委員会のどちらの支払いにするか検討すべきとの発言があった。
- ・フォントの間違いがあるので修正依頼があった
- ・桃木第 40 回シンポジウム担当理事より論文集について議論をしていただきたいとの依頼があった。

(4) 覚書の確認 ……資料番号:20-1-4

堀部事務局担当副会長より、学会の運営に関する覚え書の紹介があった。学会の現在の状況に合わせて、確認依頼があった。

P23, 28~39 は各 2000 円, 40 回は 5000 円

2019 年 4 月のもの修正し、最終的に山田雅彦規約等整備担当に確認いただいたうえで 4 月の理事会・役員会で報告する。

監事の説明、事務局の役割、支援機構の件、説明があった

(5) 令和元年活動・決算報告 ……資料番号:20-1-5-(1)~(3)

森川東京連絡事務担当より、資料 20-1-5(1)に基づき、学会の第 40 期(令和元年)の活動に関する報告があった。続いて資料 20-1-5 -(2)および(3)に基づき、収支決算の説明がなされた。

小原会長より決算の現状について概説があった。会費の値上げも考えるべきか考えていただきたい旨話があった。今度、総会に諮るなら地元の意見を聞いてきてほしいとの要望があった。

(6) 令和 2 年事業計画 ……資料番号:20-1-6

堀部事務局担当副会長より、資料 20-1-6 に基づき、学会の第 41 期(令和 2 年)事業計画案の説明があった。役員会日程について確認された。第 3 回理事会に修正する。第 3 回日程を 7/12(日)とし東京で開催する。第 4 回は 9/12(土)に開催する。

研究分科会数は 2020 年は 3 つ、2021 年は 4 つとなる予定である。

(7) 令和2年予算案 ……資料番号:20-1-7

堀部事務局担当副会長より、資料 20-1-7 に基づき、第 41 期（2020 年）の収支予算に関する報告があった。特別会計から 100 万繰り入れし ATPC 準備金として計上する。交通費、会誌印刷は実態に合わせる。研究分科会活動費で今年使わないところがあるので 20 万とする。会計業務庶務費を 5 万に変更。予備費を 100 万円ほど確保する。

(8) 第 41 回・第 42 回日本熱物性シンポジウム準備状況 ……資料番号:20-1-8

熊野第 41 回シンポジウム担当理事より、資料 20-1-8 に基づいて、第 41 回シンポジウムの準備状況、体制、および今度のスケジュールについての報告があった。10/28（水）～30（金）に相模原市民会館と相模原市立産業会館で行う。懇親会はけやき会館で行う旨報告があった。続いて予算案について報告があった。

続いて、山田雅彦規約等整備担当より、口頭で報告された。第 42 回シンポジウムの準備状況が報告された。戸谷剛委員長、小林一道幹事をお願いすることとなった。場所は検討中であると報告された。

(9) 各種委員会報告 ……資料番号:20-1-9-1~5**編集委員会**

小原会長より代理で報告があった。

熱物性値サービス委員会

山田修史熱物性情報担当理事より報告があった。第 41 期予算の産総研に支払う熱物性情報委員会費が消費税分増額になり、¥110,000 となる。

活動委員会

桃木企画担当理事から報告があった。さーもふいじしすとの残りが数冊なので何かあれば案が欲しいとの話があった。委員の増員をお願いしたい。

広報委員会

元祐広報担当理事より報告があった。収支のところを平成 31 年に修正する。消費税で HP の維持費が値上がりしている。人事公募のページがあればとの意見あり、熱物性に関連する公募があれば教えてほしいとの依頼があった。

表彰委員会

山田表彰委員会委員長より昨年の表彰について報告があった。B)論文賞のところの「後日」を削除することで了承された。C)奨励賞の委員長(当時)・・・のところを HP のリンクを張る形に修正する予定である。

40 周年記念事業実行委員会

宮崎 40 周年記念企画実行委員会委員長より報告があった。40 周年の DVD を学会誌に入れるかについては事務局と相談する。DVD には熱物性会誌 10 年分、シンポ 10 年分、ATPC4 回分、News Letter などのデータが入っている。

(10)研究分科会(4分科会)資料番号:20-1-10-1~3

高温融体物性と材料プロセス

福山オブザーバーより報告があった。鉄鋼協会との連携で実施している。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎 40 周年記念企画実行委員会委員長より報告があった。年 2 回の活動あり。

断熱材の熱物性計測と評価

小原会長より代理で資料の紹介があった。

宇宙に関する熱物性と制御

小原会長より代理で資料の紹介があった。

(11)ATPC2022 について資料番号:20-1-11

ATPC2022 で Chair を務める東北大学福山先生より経緯を含めて報告があった。9/4(日)~8(木)あたりで検討を進める。会場は東北大学または国際センターを検討している。

(12)事務局報告資料番号:20-1-12-1~2

掘部事務局担当副会長より協賛共催関係、会員の異動について報告があった。

(13)その他

次回は 4/18(土)、理事会は 12:00~, 役員会 15:00~の予定

以上